



第1号議案

令和元年度 事業報告

1. 社会福祉法人 童心会（本部）

1) 童心会の経営理念

童心会は今、社会資本の一つとして「地域の子ども家庭支援」の大切な役割を担っている。そこで、私たちは郷土に受け継がれてきた「気候、風土、文化、歴史、宗教」を見つめながら、この 21 世紀の社会の変化を先見し“生活や福祉”をデザインし、時代の変化に対応しうる理念「尽・還・実・育」を持つ法人として「利用者の最善の利益の実現」に向けて、公的役割を遂行しなければならない。

2) 童心会の事業目的(全保育所 共通)

児童福祉法に基づき何らかの理由で、保育を必要とする乳児・幼児を対象に保育することを目的とした児童福祉施設である。

子どもたちの心は“人間性豊かなより多くの人たち”との毎日の生活の中で「ふれあいと見守り、抱きしめ言葉」を通して「思いやりと生きる力」が育てられるものであり、保育所は子どもたちが最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、時代の変化に対応した保育を創造し、実践する必要がある。よって、子どもたち一人ひとりが、人格を持った人間としてお互いが認められ“生まれてから死を迎えられるまでの一生”を人間教育の場として捉え「人間として如何に生きるべきか」を学ぶための原体験を創ることを目的としている。

～ 利用者の最善の利益の実現 ～

1.愛された育ちの保障（保育ケア・ワーク）

2.保護者や地域の子ども家庭支援（ファミリーソーシャル・ワーク）

3.保健・福祉・医療・教育との協働（保育ソーシャル・ワーク）

4.保育所から始める地域コミュニティ創り（コミュニティケア・ワーク）

5. 新しい子育て文化の創造（未来の親づくり）

3) 童心会の活動内容

① 理事長講演及び執筆活動

主に、理事長自ら講演・講師を実施

- i 講演：全国社会福祉協議会主催（令和元年 6 月 19 日開催）
「第 63 回 全国保育研究大会フリー発表」

テーマ：保育の質を高める 0 歳からの人間教育

[新しい人間教育術の構築]
(～Innovation of Human Education and Care～)

- ii 講師：聖徳大学(千葉県松戸市)
年1回実施
当学生を対象に特別講師として「特別講演」実施

② 法人の体制強化(報告会及び研修会)

- i 令和元年度においても、組織強化と人材育成の一貫としてテーマを設定し各部会への研修を継続的に強化。園長会、主任会、リーダー会、調理会、子育て支援センター会、保育所保健部連絡会、年齢別クラス研修と定期的且つ課題を持ちながら理事長主導(本部企画)で実施。また、コンプライアンスの一貫として顧問弁護士による情報管理研修会を3回実施した(直雇用の職員は全員参加)。

ii 人材確保

令和元年度も保育士や補助、そして調理員の人材確保のため、柏市主催の合同就職説明会(3回参加)、近未来保育研究所主催の大学・短期大学・専門学校へ訪問就職説明会(3回訪問)、そして独自での就職説明会を2回開催し、25名(うち保育士23名、栄養士1名、調理師1名)を採用した。

iii 理事長職の集中体制

令和元年度の理事長研修は、目的意識を高め明確なテーマをもって開催。その結果、組織化と人材育成の強化が計れた。

研修名	年間講義数
各保育園(全職員対象)	25回
園長会	12回
主任会	6回
献立会	12回
保育所保健部会議	2回
リーダー研修	10回
合計	67回開催

2. わくわくアートタイム(全園展開事業)

■ 活動目標

保育園での最終学年となるさくら組の活動の中で、絵画やかきかたを通して、表現力・想像力・思考力を伸ばしていけるようにするとともに、就学に向けて学習の基礎づくりができるようにする。

- 絵 画 : 様々な用紙や画材を使用したり五感を使う活動を通して、表現の楽しさを経験し、新たな気づきや発想を広げていけるようにする。
- かきかた : 鉛筆で書くことに慣れ文字を書くことを楽しみ、書く意欲を高めていけるようにする。

■ 内 容

月に2～3回、主に午睡をしなくなった午後の時間を活用して、1回1時間程度の活動をする。

- 絵画 … 観察画・想像画・デザイン画
- かきかた…線の練習・ひらがなの練習・習字(後半3回程度)ほか

	絵画	かきかた
4月	おともだちの顔(コンテ画)	名前、線の練習
5月	大根の観察画、傘の模様づくり	ひらがな①、○△の写し描き
6月	100かいだての家、砂絵	ひらがな②、○△の写し描き
7月	パイナップルの観察画、	ひらがな③、点つなぎ
8月	海の中(透明シート使用)	ひらがな④、点つなぎ
9月		ひらがな⑤、絵合わせ間違い探し
10月	マンダラぬり絵(色鉛筆)	ひらがな⑥、絵合わせ間違い探し
11月	長い紙に描いてみよう	習字、ひらがな⑦、点つなぎ
12月	物語の絵「かさじぞう」(墨と筆)	ひらがな⑧、絵合わせ間違い探し
1月	○○○から想像して描いてみよう	書き初め、ひらがな⑨、絵合わせ
2月	おともだちの顔(コンテ画)	文集表紙の筆文字
3月	1年を振り返って絵と文字で書いてみよう	

■活動を振り返って

- ・ 活動2年目になり、昨年度の反省をもとに担任との連携をより取れるように工夫した。事前に年間計画の説明をしたり、毎月の活動や準備等についてナレッジメッセージで伝えたことで、わくわくあーとへの理解につながったように思う。
- ・ 鉛筆で書く力の個人差が大きいですが、また成長も著しく感じる。毎回の個人記録を

残し一覧表にまとめるようにした。名前が書ける子の割合をまとめると、経験することによって上達していることがはっきりわかった。

- ・ 作品の掲示をすることで他のクラスの子ども達にも活動がわかり、「さくらぐみになったらわくわくあーとができる」と期待を持つ子が増えた様子。
- ・ KS では冬まつりで、次年度さくら組でわくわくあーとを行うひまわり組保護者に知っていただくために、4歳児ひまわり組でわくわくあーとの保育参観をおこなった。子ども達だけでなく保護者にも理解いただき、次年度につながる活動ができた。次年度も希望される園があれば、ひまわり組でも行っていきたい。
- ・ サポートに入ってくださる先生は毎回変わることが多く、十分な活動説明ができなかった。何をサポートしてもらうのか、事前に打ち合わせが必要だった。また、今後の活動を継続していくために、各園で決まった先生にサポートしていただく方が良いと感じた。今後、サポート体制の検討をお願いしていきたい。(R2 年度実施予定)

<参考:さくらわくわくアート通信>

さくら組保護者各位

令和2年3月吉日

社会福祉法人童心会

保育アドバイザー 高間道子

さくらわくわくアート通信 3月号

もうすぐ卒園、そして1年生になるさくらぐみの子ども達、活動の時の引き締まった表情や作品のようすが、1年間の大きな成長を感じています。子ども達の様々な可能性、意欲、伸びていく力に大きな拍手を贈りこれからも応援していきたいと思います。ありがとうございました。

絵画

《活動の様子》

◆「マンダラめり絵」色鉛筆で細かい部分の色塗りができることは、鉛筆を持って字を書く時の運筆の練習にもつながります。色のバランスを考えながらデザインを楽しみました。



◆「長い紙に描いてみよう」紙の形が変わると、描くものの発想も広がりました。



◆「かさじそうの絵」では、情景を想像しながら素話をきいて、心に残った場面を墨と筆を使って描きました。絵具で雪を降らせると、静かな雪国のお地蔵様ができあがりしました。



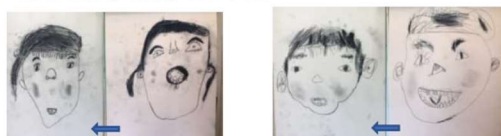
◆「〇〇〇から発想を広げて描こう」

子ども達の柔軟な発想力に驚くばかりでした。このひらめきが、きっと未来を築いていく力になることでしょう。



電車の車輪 ハンバーガーを買いに来た ぶどう ボタン
ドラえもん

◆「おともだちの顔」コンテ画



3月 昨年4月

3月 昨年4月

同じ描き方でおともだちの顔を描きました。(活動ができなかったお友達、ごめんなさい)1年前の表現に比べると、おいさん、おねえさんの顔になっていますね！子ども達の内面の見えない成長が、絵に表れています。

かきかた



《活動の様子》

◆4月からひらがなの練習を少しずつ進めました。文字に興味をもてるように、「ことばあつめクイズ」を毎回やってみました。「き」⇒切り干し大根・切符・金メダル・キャンディー・きなこ・牙・キス・キツネザル・キリギリス・切手・金貨・金色…どんどん発表が続きました。生活体験が、豊かな言葉につながっているのですね！とても感心しました。鉛筆で書くことにも慣れてきて、積み重ねの成果を感じました。

◆「かきそめ」「文集の表紙」筆文字の経験をしました。書き直しができない緊張感、ペンでは表現できない文字のおもしろさ、文集の表紙を見たときに思い出してもらえたらと思います。



「先生の話の注意深く聞くこと」、「時間の目安をもって終えるようにすること」、「おともだちの作品の良いところに気づくこと」、「発表したり、前に出たりすることに自信をもてるようになること」わくわくアートを通して伝えたいことを吸収して、成長した子ども達が大きくみえます。かんばれ！いちねんせい!!これからの成長が楽しみです。



はらぺこあおむし 集合写真 雪だるま 鈴

【赤ちゃんと脳科学】

小西行郎先生は、天才に育てるより幸せな人間に育てたいと言っていました。そのためには目を見つめ、身体に触れ、話しかけて育てることだと言っています。

だきしめ言葉！わすれないでください。

理事長 中山 勲

ちよつと一言

ある日のことです。Aちゃんが掲示してある作品を見ながら、ひとりことを言っていました。
“Bちゃんの絵は〇〇がじょうず、Cちゃんの〇〇、私は気がつかないなあ、すごいなあ” 友達の良いところに気づき認めているAちゃんが輝いてみえました。“みんなちがってみんないい!!” きっとすてきな1年生になることでしょう。みんなみんな げんきでね！

3. わくわくタイム(全園展開事業)

1) わくわくタイムの概要

5歳児(さくら組)を対象に、午睡しなくなった時間に園バスで徒歩圏内では行けない公園や公共施設の社会資源を活用し園外活動をする。

〈参考:活動の様子〉



中原防災ふれあい公園の芝斜面にて

柏中央体育館の幼児体育室にて



手賀沼親水広場にて

2) ねらい・目的(五感を刺激する活動)

- ・ 四季を通じて自然豊かな季節を感じられる公園で、草木や花、木の実などの自然と戯れ(視覚・嗅覚・触覚)、体と心を満足させることで情緒の安定に繋がる活動とする。
- ・ 主体的な遊びを通して集中力を養うことができる。手足の指先まで集中することで体を理解し、全身を使った動きを楽しむことができる。遊びを通して人との関わり、自分で課題を作り主体性を伸ばす。斜面登りなどの“小さなできる”を繰り返す動きから自信に繋がるようになる。園児の頑張りを見守り、応援する(受容する)ことで、踏ん張りや諦めない心、立ち向かう心である“がんばること・つづけること・がまんすること”の楽しさや強さを園児自身で見つけることができる。(主体性＝自分の意思・やりたいと思う気持ちから行動すること)
- ・ 図書館や体育館などの館内施設で、施設のルールを理解し、社会性を身につけることができる。

- ・ 公園同様、施設を利用させて頂くことの感謝の気持ちを込めて入出時にご挨拶をすることができる。

3) 活動について

活動における実施内容、年間実施(回数、場所等)は下記を参照してください。また、年間における評価として5園合同マラソン記録交流会を初め、柏の葉競技場を借り開催した(その報告内容は参考資料にて参照)。
なお、雨天の場合は市立図書館・柏中央体育館や館内施設を利用した。

〈表1:年間実施表〉

月/園名	柏さかさい保育園	柏中央保育園	牛久みらい保育園	柏しんとみ保育園	柏ECEC保育園	中央+ECEC保 合同	月回数
H31.4月	11日 あけぼの山農業公園	4日 あけぼの山農業公園	16日 乙戸沼公園	8日 柏ふるさと公園			7
	25日 柏中央体育館	18日 やまびこ公園		22日 あけぼの山農業公園			
5月	13日 増尾城址公園		7日 牛久中央図書館	10日 増尾城址公園	27日 柏ふるさと公園	31日 増尾城址公園	6
				24日 増尾城址公園			
6月	13日 柏ふるさと公園		4日 ふわふわドーム	14日 やまびこ公園		17日 怪獣公園	5
			18日 JAXA宇宙センター				
7月			16日 イオンモールつくば				1
8月			6日 牛久中央図書館				2
			20日 牛久中央図書館				
9月	12日 手賀沼親水広場		3日 カスミ	13日 柏の葉公園		19日 手賀沼親水広場	4
10月	28日 流山市総合運動公園	17日 流山市総合運動公園	1日 霞ヶ浦総合公園				4
			15日 洞峰公園				
11月	28日 中央体育館(道場)		5日 牛久運動公園	8日 流山市総合運動公園	22日 沼南こども図書館	21日 流山市総合運動公園	6
			19日 乙戸沼公園				
12月	12日 中原防災ふれあい公園	19日 柏中央体育館(幼体室)	3日 洞峰公園	13日 やまびこ公園			6
			17日 牛久中央図書館	27日 流山市総合運動公園			
R2.1月	9日 やまびこ公園		7日 ふわふわドーム	10日 柏リフレッシュ公園		16日 柏リフレッシュ公園	6
			21日 乙戸沼公園	24日 柏リフレッシュ公園			
2月	13日 中原防災ふれあい公園		4日 洞峰公園	14日 流山市総合運動公園		6日 柏中央体育館(幼体室)	6
			18日 洞峰公園			20日 中原防災ふれあい公園	
3月							0
年間回数	10	4 (11)	18	12	2 (9)	7	53

〈実施内容〉

活動場所	活動内容
あけぼの山農業公園	お花(チューリップ・コスモス)観賞/鯉観賞/複合遊具遊び
やまびこ公園	アスレチック遊び/森散策/複合遊具遊び
増尾城址公園	木の根を利用した崖上り/森散策/自然と遊ぶ
柏ふるさと公園	複合遊具遊び/マラソン練習/自然と遊ぶ
手賀沼親水広場	じゃぶじゃぶ池遊び
流山市総合運動公園	複合遊具遊び/アスレチック遊び/サッカー/自転車乗り
中原防災ふれあい公園	斜面でボール遊び/アスレチック遊び
柏の葉公園	複合遊具遊び/幅広すべり台/マラソン練習
柏リフレッシュ公園	ダンボールで斜面滑り/複合遊具遊び

沼南こども図書館	読書
怪獣公園	ダンボールで斜面滑り/怪獣見学
乙戸沼公園	複合遊具の斜面&すべり台遊び/鳥観賞
牛久運動公園	ふわふわドーム遊び/斜面遊び/自然と遊ぶ(すすき等)
イオンモールつくば	お店見学回り(お祭りのための見学)
霞ヶ浦総合公園	複合遊具遊び(ツェッペリン号)、ローラーすべり台
洞峰公園	マラソン練習/サッカー/複合遊具遊び/アスレチック遊び
牛久中央図書館	読書/本のレンタル
JAXA 宇宙センター	見学(宇宙に触れてみよう)
カスミ	見学/お買い物体験
柏中央体育館(幼児体育室)	ウレタンブロック遊び/平均台/跳び箱/鉄棒/自由遊び

7) 活動を振り返って

① 期待

園バスが到着する前に先生がわくわくタイムの活動について期待を持たせて下さり、子ども達はわくわくした様子で元気に挨拶をしてくれます。

② 挨拶

バスに乗るときに一人ひとりが「公園までよろしくお願いします!」などのご挨拶や、運転者の私に「よろしくお願いします!」、降りるときにも目を見て「運転してくれてありがとう」などお礼をしてくれます。公園へ「よろしくお願いします。」帰るときの「ありがとうございました。」のご挨拶。気持ちを伝えることが習慣となり、相手の気持ちを思いやり、感謝とやさしい心が育っていることが分かります。

③ お約束

バスの中では、バスでのお約束(立ち上がらない・大きな声を出さない・窓を開けない)を守りながら公共性を継続的に学び、移動時間を楽しく過ごしました。

④ 公共意識

公園に到着すると利用させて頂く公園に感謝の気持ちを込めてゴミ拾いをします。公園がきれいのなることの嬉しさを感じることができました。ゴミに対する価値観を学び、みんなの公園であることの認識が持てたと思います。来年度も継続していきたい活動です。

⑤ 時間の有効活用

わくわくタイムの活動時間は1時間前後あるのですが、お話を聞く姿勢がとれないと遊ぶ時間がなくなってしまうため、今何をする時間なのかという意識をもちながら楽しい時間を大切にできるようになっていきました。

⑥ 非認知能力

子ども達の遊びを見て、“成功体験”も大切ですが、その過程にある失敗を恐れず楽しめる“失敗上手”になれることが成功のプロセスで最も大切であると学びました。また、そのことが理事長の研修に何度も出てくるがんばること・つづけること・がまんすることの意味を通して、非認知能力(継続していく力)を育てながら生きる力になっていくことを意識して活動しました。雲梯遊びが思うようにできなくても、まめができるまで何度も挑戦して渡りきることができる自信をつけるかの如くなぞるように繰り返します。少し難しい遊びでも繰り返す事で“ひとりでできた”仲間の見守りや応援があって“みんなとできた”困っている人に寄りそって思いやりをもって“ひとのためにできた”の体験が環境とたくさん遊びを通して経験することができました。

⑦ 環境活用

各園によって、環境は違いますが、全園に共通していることは園児達が遊びの中で喜びや楽しさを共有する姿が毎回見られるということ。環境(室内環境/人環境/外環境・四季環境/社会資源の活用)を活用し、ヒトとの関わりを通して“楽しい”を共有することで仲間意識や思いやり(感情や心)が育つ。

⑧ 主体性を伸ばす

声かけは肯定的にします。自分達で選択をし、園児達が遊びを作れるような環境作りをしていくようにルールを多く設けずに、自分たちで遊びを作ることができる(主体性を伸ばす)ように肯定的な声かけを心がけたところ、生き生きした表情で面白い遊びを作ることができていました。私たちはその手助けや気づきから、それを繋ぐ役目だと思っています。たくさんの素晴らしい経験を通して、自分の価値を自分で肯定的に高める。自尊心を高めていくことにも繋がる活動になっていると感じました。

〈参考:R01年度 合同マラソン記録交流会〉

令和元年度 マラソン交流会(R2. 2. 19実施) 報告書



日時	令和2年2月19日 10:00~13:00
会場	県立柏の葉公園 総合競技場
会場入りについて	●観光バス(株式会社進和)KS/KC/UM ●園バス:KT(虹バス)/EC(赤バス)
参加園	KS(柏さかさい)/KC(柏中央)/UM(牛久みらい)/KT(柏しんとみ)/EC(柏ECEO)
ねらい・目的	・童心会4歳児&5歳児の仲間との競走と交流を楽しむ場とする。 ・毎日のマラソン練習の成果を出せる場とする。
レース順①~④/ 参加人数について	① 4歳児女の子54名 / ② 4歳児男の子38名 / ③ 5歳児女の子31名 / ④ 5歳児男の子43名 / 合計166名
レース内容	4歳児=660m(約1周半)/5歳児=990m(約2周半) ※トラック1周=400m

- ・例年までマラソン交流会は学年別に行っていた。
会場は豊四季台公園(4歳児)、柏リフレッシュプラザ(5歳児)で行っていた。
- ・県立柏の葉公園(総合競技場)を利用することになった理由
平成31年(令和元年)度は法人設立(柏さかさい保育園が開園してから)10周年ということ。5園合同で大きな交流の場を作りたいという気持ちから実施することとなった。
- ・開催当日晴天に恵まれ最高のコンディションであった。開会式で園歌を歌い、5園合同で行えたことで、同じ童心会で育ち学んでいることを感じる事ができた。
- ・保護者は100名以上の保護者にお集まり頂き、レースでは大声援、園児と一緒に走り応援する保護者の方々の姿が見られ大いに盛り上がった。
- ・園児達は真剣な眼差しで今までの練習の成果を出そうとレース毎に理事長の気合い入れを受けてからレースに挑み、全員が完走することができた。童心会の理念である“がんばること・つづけること・がまんすること”を見事に体現し、感動を与えてくれた。閉会式では入賞者にトロフィーとメダル、完走者へは賞状(頑張ったで賞)で努力をねぎらった。
- ・マラソン交流会の行事を通して、園児達は親や先生たちに囲まれ、村のように一つになって成長した姿を素晴らしい舞台で見て頂けることができた。
- ・来年度(令和2年度)は反省や改善点を踏まえ、よりよい形にしていきたい。童心会5園合同で得られる交流時間を大切に、日々の成果や成長を見せられる場としていく。
- ・令和2年度のマラソン交流会予定日は2021年2月10日(予備日:2月16日)となる。新型コロナウィルスの影響により中止または実施に入場人数などの条件が追加される場合もあるとのこと。

保護者各位

令和2年2月19日

社会福祉法人 童心会

【令和元年度マラソン交流会のご案内】

寒さが続く中にも、暖かい日差しが来てきましたね。
日頃より、園の活動にご協力頂きありがとうございます。
この度、下記の通り童心会5園合同(柏さかさい保育園/柏中央保育園/牛久みらい保育園/柏しんとみ保育園/柏ECEO保育園)のマラソン交流会を行います。子ども達は日頃から園内・園外活動にて体力向上を図っております。子ども達の成長を感じ、楽しんで頂きながら、応援のご協力をお願い致します。

○開催場所: 県立柏の葉総合競技場 所在地: 〒277-0882 千葉県柏市柏の葉4-1
○日時: 2020年2月19日(水) 10:00~13:00
予備日: 2月26日(水) 10:00~12:20 / 予備日: 3月5日(木) 10:00~12:20
※予備日: 雨天、荒天などで中止となった場合は、予備日に開催となります。

○駐車場利用について
・第1駐車場(総合競技場・野球場・陸球場)をご利用下さい。※競技場から近いので混雑。
・利用料金(第1・第2共通)
普通車: 4時間以内 300円 4時間超~6時間以内 600円 ※お支払いに1万円札・5千円札は使えません。
※駐車場から総合競技場まで徒歩5~10分ほどかかります。傘持参して会場へお越し下さい。

○出入口について
・競技場外側(留伸側エリア)にある北側大階段からお入り下さい。2階アリーナ席へ繋がっております。
○観戦場所について
・競技場観戦席2階席(400mトラック外側緑色のエリア) ※トラック内はヒール靴等尖った靴での立入禁止です。

スケジュール

10:00~10:30	開会式
10:30~11:00	① 4歳女子660m走
	② 4歳男子660m走
	③ 5歳女子990m走
	④ 5歳男子990m走
11:50~12:20	閉会式
12:20~13:00	解散
13:00~	各自バスにて帰園

※プライバシー保護のため、他園児のSNS等への写真・動画の掲載はご遠慮下さい。

マラソン交流会 担当者: 中山カ公

●保護者用【令和元年度マラソン交流会のご案内】

4. 柏さかさい保育園

1) 事業内容(KS)

- ① 保育所の運営、 ②地域子育て支援拠点事業、 ③一時預かり事業他、
保育事業として延長保育促進事業を実施する。

- 開園して10年となるなかで、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育ててきました。 幼児組は日々の活動に課題を見つけチャレンジする意欲が育ち、1、2歳児が 30 分間朝会に集中して参加し幼児組の様に歌に合わせて体を揺らし指揮者の真似をしたりとミラーニューロンによる意欲が育っています。また、一周320m のマラソンコースを走り切ったりと、子供たちが童心会の保育理念のもとしっかりと成長している結果が見られた。 また、2歳児はリーダー活動の一つとして乳児朝会で進行をするなど、人の前で話す体験を重ね非認知能力 を育て、3、4、5歳児は行事に対して一つ一つ子供たちが話し合い、認め合い助け合いながら自分たちで作り上げ多くの「がんばること、つづけること、がまんすること」と「やれば出来る！」事を実体験した。法人職員による音楽リズム、絵画、文字、課外活動の経験により、体験を共有することで心を育て、知識を獲得することで自信をもち就学に繋げることが出来た。
- お泊り保育では5歳児がつくば市にあるふれ合いの里へ行き、障害のあるお子さんも保護者の理解を得ながら筑波山登山を体験し、多くの新しい発見と感動、チーム力、達成感を得ることができた。3 歳児は初めての親元を離れての宿泊、4歳児は初めての園外でのお泊り保育となったが、どちらも「自分でできた、みんなとできた、人のために出来た」を経験し、成功体験と共に情緒の成長も見られた。
- 近隣の老人福祉施設との異年齢交流、姉妹園 5 園との柏の葉競技場でのマラソン交流は特別な環境となり五感の刺激は計り知れないものとなった。その他、5 歳児は逆井小学校との交流など様々な人との交流を通し、他者理解認め合う気持ちを養い、社会を知ることが出来た。
- 特別な支援が必要とされるお子さんや集団での生活が苦手なお子さんに対して、地域保健福祉課、ウェルネス発達支援センター、きりととも学園などの行政と連携を取り適切な支援を行い小学校との接続もスムーズに行う事が出来た。

○ 2・3・4・5歳児は公園里親ボランティアで公園のトイレ掃除や地域の清掃活動をやり、人のためになる喜びを学んだ。

○ 子育て支援まことちゃんの利用者も口コミで増え、予約が必要なものはすぐにいっぱいになっている。また、在園児の弟妹も慣らし保育を兼ね保護者が積極的に利用している姿も多く見られた。利用者の育児に対する悩みを聞いたり、こちらからメールで近況を伺ったりして、「一人ではない」ことを感じてもらえるように繋がりを意識した。柏市福祉課の方と支援が必要な親子の見守りを行い、地域親として育児支援を行った。

○ 保育士養成校7校9名、慈恵柏看護専門学校7名の実習を受入れ、他、近隣の小学校の街探検、中学校2校の職場体験、柏陵高校2、3年生のインターシップの受入れを実施。

2) 児童の在籍状況(KS)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	15	50	24	45	134
5 月	20	49	24	45	138
6 月	20	50	24	45	139
7 月	20	50	24	45	139
8 月	21	50	24	45	140
9 月	22	50	24	46	142
10 月	23	50	24	46	143
11 月	24	50	24	46	144
12 月	24	50	24	46	144
1 月	24	50	24	46	144
2 月	24	50	24	46	144
3 月	24	50	24	46	144
計	261	599	288	547	1,695

3) 保育園の保守管理(KS)

当園は、定期的な清掃及び修繕点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないように室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機、次亜塩素酸水を設置すると共に清潔を維持している。また、新型コロナウイルス感染症感染防止策として園児、職員の健康観察や行政からの情報提供に努め、感染対策を徹底した。

4) 消防・地震計画 (KS)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外(朝と夕方)訓練 各 1 回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練 防犯訓練
引渡し訓練(地震)	年 1 回	
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員 AED, 心肺蘇生講習 職員

5) 保健衛生 (KS)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)蟻虫卵検査、尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法など職員研修を実施。

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認

6) 各種行事の実施状況 (KS)

行事は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、縮小して行う行事もあった。

また、年長児は逆井小学校1年生との交流も行い就学に期待を持つきっか

け作りになった。

※ 誕生会、映画会、身体測定、ボランティア活動、歩く会は毎月実施

※ 実習生は随時受入(年間10名前後の受入予定)

本年度は 慈恵柏看護学校 母性看護学実習 7名

東洋大学 2名、

東京教育専門学校 2名

江戸川学園おおたかの森専門学校 1名

東京家政短期大学 1名

洗足こども短期大学 1名

東京こども専門学校 1名

東京スポーツレクリエーションこども保育専門学校 1名

実施月	行事名
4月	・進級式・入園式・春まつり
5月	・バス遠足・こどもの日のつどい・蟻虫検査 ・4, 5歳児 尿検査・歯科検診・公園里親ボランティア
6月	・4, 5歳児 スポーツテスト・個人面談・内科検査 ・さくら組 お泊り保育・公園里親ボランティア
7月	・視力検査(5歳児)・七夕の集い・ひまわり組 お泊り保育 ・プール開き
8月	・5歳児お年寄り交流(柏あんしん館)・夏まつり
9月	・視力検査(4歳児)・引渡し訓練 ・プール納め・公園里親ボランティア ・たんぽぽ組 お泊り保育 ・ふれあいパーティー
10月	・親子運動会・交通安全教室・秋の鑑賞会 ・ハロウィンクッキング・逆井小学校街発見
11月	・10km ウォーク 5歳児・5kmウォーク 4歳児 ・バス遠足(1歳児～3歳児)・南部中学校 職場体験 ・カスミ食育体験・さくら組 逆井小学校1年生との交流 ・柏陵高等学校 インターシップ ・土南部小学校街探検
12月	・クリスマス生活発表会・内科健診
1月	・マラソン記録会(1回目)

2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン記録会(2回目) ・冬まつり ・柏中央保育園、牛久みらい保育園、柏しんとみ保育園 柏 ECEC 保育園交流会(4歳～5 歳児 マラソン交流会) ・節分豆まき集会 ・視力検査 3歳児 ・公園里親ボランティア 5歳児 ・卒園遠足
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひなまつり集会・おにいさんおねえさんありがとうの会 ・卒園式

7) 職員の充足状況(KS)

① 定員120名 弾力運営 144 名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
定員	20名	20名	20名	20名	20名	20名

② 職員の配置基準とその配置

☆ 職員配置基準

区分	0 歳児	1・2歳児	3 歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

☆ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	22名	3名	26名

② 現員(令和2年3月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	短時間 保育士	看護師	事務員
配置	1 名	1 名	29 名	3 名	1 名	2 名
区分	みなし	サポーター	栄養士	調理員	全職員46名	
配置	3 名	3 名	(1)名	3 名		

※ 理事長(スーパーバイザー)は別途カウントなし

※ みなし=子育て支援員

※ 保育士数のうち派遣保育士 5 名を雇用

※ 栄養士は柏 ECEC 保育園と兼務

5. 柏中央保育園

1) 事業内容(KC)

- ① 保育所運営、②地域子育て支援拠点事業、③一時預かり事業
他、保育事業として延長保育促進事業も実施する。
駅近ということもあり、都内で就労する保護者も多く、19 時以降延長保育を利用する園児は平均 30 名になる。
- ・ 特別な支援が必要な子への対応について、令和 2 年 3 月末まで 6 名(多動傾向、自閉症傾向、軽度の遅れ傾向、ダウン症)に対して、それぞれ補助職員が入り保育を行う。共に暮らすことにより、相手への思いやりの心も育まれ微笑ましい場面が多くの場面で見られる。
 - ・ 里親活動
園外での活動が殆どのため、使用している一部の公園の里親活動を行う。「あたりまえ」ではなく、「ありがとう」の感謝の気持ちを大事に出来る子に育つよう公園の清掃活動を定期的に行う。
 - ・ 基本的生活習慣を大事に衣服の着脱、トイレトレーニング、食事のお約束、フォークや箸の持ち方、人との関わりなど、生きるために必要なことを、保育園という小さな社会の中で学び、たくさんの刺激ある暮らしの中で、『ひとりでもできる みんなでできる 人のためにできる』ことを増やしていく。
 - ・ 本園は、社会資源を活用し園外活動に力を入れている。散歩、買い物、見学など、目的をもって充実した時間を持てるよう計画的に行っている。園バスを利用した活動もあり、いろいろな経験体験の中で、『イキイキ・ワクワク・ドキドキ』を感じられるような時間が持てるよう推進している。
 - ・ 暮らしの中で、たくさんのスペシャリストに協力していただきながらたくさんの刺激ある活動を取り入れている。
【わくわくアート】【わくわくタイム】【幼児体育】【音楽リズム遊び】専門の先生にご指導いただくことにより職員の学びの場にもなり良い刺激になっている。

2) 児童の在籍状況(KC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	12	39	20	39	105
5 月	12	39	19	40	106

6 月	12	39	19	40	107
7 月	11	39	19	40	107
8 月	12	39	19	39	106
9 月	12	39	19	40	106
10 月	12	39	19	40	106
11 月	12	39	19	40	106
12 月	12	39	19	40	106
1 月	12	39	19	40	107
2 月	12	39	19	40	107
3 月	12	39	19	40	107
計	143	468	229	478	1,318

3) 保育園の保守管理(KC)

当園では、毎日の掃除及び定期的点検実施

玩具に破損部分がないか定期的に確認すると共に、乳児クラスの玩具については、毎日、電解水を使用し衛生的環境が保てるように心掛ける

幼児クラスの玩具についても電解水を利用し定期的に清掃すると共に毎日、園児が自分で作った雑巾を使用し水拭き掃除を行う

4) 消防・地震計画(KC)

地震火災が起きたことを想定しての避難訓練、引き渡し訓練、夜間訓練は勿論のこと、避難場所の確認、避難靴、非常食など、職員、そして保護者との共通理解できるよう実施した。8 月には、同ビルの KDDI と一緒に合同避難訓練を行う。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	夜間(夕方)訓練 1 回実施
引き渡し訓練	年 1 回	保護者への周知
消火訓練	年 1 回	職員参加
不審者訓練	年 1 回	
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ報告(義務年 1 回)
その他	年 1 回	119 番通報訓練

5) 保健衛生(KC)

病気、怪我、感染症には細心の注意を払い、感染症が流行した時には、病名を掲示板で周知すると共に、病気に負けない強い体づくりを心掛けて頂けるよう、全保護者へ食事、睡眠の重要性について再確認のため「ママ連メール」等

で周知した。

このように、感染が拡大しないよう注意を払うことは勿論、園児たちの健康管理として年2回の内科検診、年1回の歯科検診を実施した。その他にも、尿検査を実施、職員に関しては、月1回の腸内細菌検査を実施している。看護師がクラスを巡回しての病気等の相談、子育て支援での育児相談会、怪我をした子の対応など、保育士にとって安心できる存在となる。

10月から3月までは感染性胃腸炎、インフルエンザが流行する時期のため、室内の消毒も塩素系の殺菌剤を使用し行う。設置当初から各部屋に加湿器を設置し、特に感染症が流行する冬時期には、掃除、消毒等、清潔に維持するように心掛けた。看護師による衛生面での指導をリーダー会議で定期的に行う。

6) 各種幼児の実施状況(KC)

実施月	行事名
4月	入園進級式・春まつり・内科検診・ピクニック
5月	子どもの日の集い・尿検査・バス遠足(2歳児から5歳児)・5歳児10キロウォーク
6月	個人面談・5歳児お泊り保育(筑波山登山)
7月	七夕の集い・プール開き・夏まつり・防火教室 4歳児お泊り保育(猿島少年自然の家)
8月	夏まつり・KDDIとの合同避難訓練
9月	引き渡し訓練・視力検査(4・5歳児)・おじいちゃんおばあちゃんふれあいパーティー
10月	ボランティア活動・親子運動会
11月	交通安全教室・秋まつり(保護者会主催)・第1回マラソン記録会
12月	クリスマス生活発表会・クッキング・内科検診・もちつき
1月	第2回マラソン記録会・交通安全指導
2月	節分豆まきの会・バレンタインクッキング・童心会マラソン交流会・視力検査(3歳児)・冬まつり
3月	卒園遠足・ひなまつりの会・ありがとうの会・卒園式・入園説明会

※誕生会、身体測定は毎月実施

7) 職員の充足状況(KC)

① 定員90名 弾力運営 110名(定員率120%超え)

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	10名	16名	16名	16名	16名	16名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	18名	2名	21名

③ 現員(令和2年3月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	みなし	サポーター
配置	1名	1名	22名	3名	2名
区分	調理員	栄養士	看護師	事務員 (保育士兼務)	全職員 34名
配置	3名	1名	1名	(1名)	

※ みなし=子育て支援員

※ 保育士数のうち派遣保育士4名を雇用

6. 牛久みらい保育園

1) 事業内容(UM)

牛久みらい保育園は、平成25年4月1日にひたち野うしく駅西口から徒歩15分のところに開園し、下記の3事業を柱に運営している。

① 保育所運営、② 地域子育て支援拠点事業、③ 一時預かり事業

その他、保育事業として、病児保育事業(体調不良児対応型、病後児保育)延長保育促進事業も実施する。

また、定員の弾力化により園児の追加受け入れを行い、牛久市の待機児童の解消への貢献および、委託費収入の増へつながった。

- ・ 市の公用バス(無料)で茨城大学への農業体験や卒園遠足など園外活動に出かけることができた。また、保幼小の連携会議、小学校の行事(学校案内、給食試食会)への参加、気になる子のケース指導のための巡回相談(年5回)、交通安全教室(毎月実施)、保健センターや家庭児童相談室との情報の共有等、市の各機関と連携をとりつつ保育を進めた。
- ・ 茨城大学農学部の大広大な農場で五感へ刺激溢れる農業体験、田植え、梨の花観察、梨狩り、ジャガイモ掘り、さつまいも掘り、人参掘り、パン作りなど年間を通して貴重な体験をさせていただいた。また昨年に引き続き、園児の保護者にも呼び掛けて休日に親子で農業体験に参加できるプログラムも実施して、保護者にも好評いただいた。
- ・ 子育て支援センターとしおちゃんの活動は、食事体験会、親子製作に加え、看護師による育児講座、音楽リズム遊びなど各種講座を実施。また、0歳児ママの会では同年齢の子を持つ親同士がつながり、看護師の育児相談を受けたり、園児と園庭で一緒に遊んだりするなど、地域の保護者とのつながりを深めながら地域の子育て仲間の支援を行った。
- ・ 病後児保育事業については、昨年に引き続き、市役所保健センター利用者への事業案内を積極的に行い、新規登録95名、累計では782名となった。また利用人数は51名であった。引き続き保育課及び医師会との連携をとりながら進めていく。
- ・ 保護者会『みらいファミリー会』の取り組み
夏まつりへの出店、絵本の貸し出し文庫、保護者のお仕事紹介、おそうじ会、クリスマス生活発表会での合唱、フォトコンテストと積極的に活動が行われた。昨年に引き続き「パパの力仕事プラン」では園庭整備、整理棚作りをしていただき、大変助かりました。活動を通してパパ同士の交流を図ることができ、

次年度へつながる活動になった。これからも童心会の目指す“村づくり”をすすめていく。

2) 児童の在籍状況(UM)

区分 月	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳児以上	計
4 月	9	34	17	18	93
5 月	9	35	17	18	94
6 月	9	36	17	18	95
7 月	11	36	17	18	97
8 月	13	36	18	18	101
9 月	15	36	18	18	103
10 月	15	36	18	18	103
11 月	15	36	18	18	104
12 月	15	36	18	18	105
1 月	15	36	18	18	105
2 月	15	36	18	18	105
3 月	15	36	18	18	105
計	156	429	212	413	1,210

3) 保育園の保守管理(UM)

当園では毎月「清掃強化日」を設け、日頃の清掃で行き届かない箇所の清掃を実施している。また保育室では、病気・感染症の予防のためにマニュアルに基づき室内の消毒及び玩具の定期的な消毒を徹底している。

また、市役所より放射線量の測定に来ていただき、測定結果を園の掲示板にて保護者へ通知をしている。

4) 消防・地震計画(UM)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月 1 回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・竜巻・夜間対応・

		抜き打ち訓練含む
消火訓練実習	年 1 回	職員参加
消防機材の点検	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 4 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(UM)

園児：嘱託内科医による内科健診(年 2 回)、嘱託歯科医による歯科健診(年 2 回)及び尿検査を実施。また看護師による歯磨き・手洗いなどの保健指導、命の大切さを学ぶマタニティ体験の実施。

職員：健康診断(年 1 回)、腸内細菌検査(毎月)を実施、また看護師による感染症対策、救急処置方法などについて研修の実施。

保護者：ほけんだよりの発行(毎月)、エントランスに設けた「ほけんコーナー」にて保育園(市内近隣)の感染症の状況などの掲示を行った。

6) 各種行事の実施状況(UM)

実施月	行事名
4 月	・入園式 ・梨の花観察(4・5 歳児) ・こどもの日のつどい
5 月	・うしく鯉まつり参加(オープニングセレモニー) ・春まつり(保育参観・懇談会) ・田植え体験(5 歳児) ・春のバス遠足
6 月	・パパ保育体験 ・保護者個人面談 ・歯磨き指導 ・ひたち野うしく小学校 2 年生 町探検で来園(保幼小連携事業) ・内科健診 ・歯科健診 ・4・5 歳児お泊り保育(あすなろの里にて) ・マラソン記録会①
7 月	・プール開き ・七夕のつどい ・食育指導(牛久市) ・ジャガイモ掘り体験(4・5 歳児)
8 月	・夏まつり(ひたち野ふれあいまつり) ・梨狩り体験(4・5 歳児) ・プール納め ・カスミ食育教室 ・視覚健診(4 歳児)
9 月	・3 歳児お泊り保育(本園にて) ・おじいちゃんおばあちゃんふれあいの会 ・介護老人保健施設「常総の郷」訪問 ・稲刈り体験(5 歳児)
10 月	・親子運動会 ・秋まつり(お店屋さんごっこ) ・公開保育 ・サツマイモ掘り体験(4・5 歳児)
11 月	・ひたち野うしく小学校案内(保幼小連携事業) ・秋のバス遠足 ・筑波山登山(5 歳児) ・人参掘り体験 ・保育所一般検査
12 月	・クリスマス生活発表会
1 月	・もちつき ・内科健診 ・マラソン記録会②

2 月	・節分豆まき ・歯科健診 ・茨大パンづくり体験(5 歳児) ・冬まつり ・童心会マラソン交流会(4・5 歳児) ・マラソン記録会② ・新年度入園説明会
3 月	・ひなまつりの会 ・卒園遠足(園内にて) ・さくら組さんありがとうの会 ・卒園式

※ 誕生会、映画会(幼児・乳児)、うたごえ集会、身体測定、交通安全教室は毎月実施

※ 4・5 歳児は専門の崎野指導員による体操指導を実施、5 歳児は高間先生による文字の書き方、絵画指導、力公先生による園外活動を定期的の実施

※ 実習生受け入れ(年間 6名)

江戸川学園おおたかの森専門学校 1名、 東京家政大学 1 名

東洋大学 2名、 つくば国際短期大学 1 名、 聖徳短期大学 1 名

※ いばらき民間保育園就活応援セミナーに参加 1 名採用(和洋女子大)

7) 職員の充足状況(UM)

① 定員 90 名 弾力運営 1 名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
定員	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	90名

② 職員の配置基準とその配置

※ 職員配置基準(園児:職員)

区分	0 歳児	1・2歳児	3 歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	13名	2名	16名

※上記配置基準は特別保育事業の加配人員は除く

③ 現員(令和 2 年 3 月 1 日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士
配置	1 名	1 名	22 名	3 名 (うち 1 名本部より)	1 名
区分	調理員	保育補助	用務員	事務員	全職員 35名
配置	4 名	1 名	1 名	1 名	

7. 柏しんとみ保育園

1) 事業内容(KT)

柏しんとみ保育園は、平成27年4月1日より開園し5年が過ぎました。流山市に隣接され他市からの園見学に来られる保護者も多く来園されます。

事業は2事業を柱に運営している。

① 保育所の運営、② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。なお、地域子育て支援拠点事業は隣接している為市からは不認可だが、園庭開放など近隣の子育て仲間とのコミュニケーションを図る為行っています。長期戦略から独自に実施している。

◇ 保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つめ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てています。
- ・ 昨年同様2週に1回、外部専門員による幼児体育は、非日常動作から脳神経や運動神経や動かして解る理解や工夫の発達を身に付けている。
- ・ 柏さかさい保育園の専門的先生による、音楽リズムセラピー(リトミック)も取り入れ、音楽リズムを通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。幼児体育も同様であるが、人間形成に欠かせない集中力、自立心、競争心、好奇心、協調性、感受性、即時反応力などと言った要素をバランス良く心と身体、そして脳の発達、自己表現を豊かにする。
- ・ 野菜や米を育てる経験をする事で、食への興味や美味しくいただくことの大切さ、感謝の気持ちを学んでいます。又柏さかさい保育園近隣の日暮さんの畑に入れる体験と大根の収穫経験は、その後お家で食べる大根はより美味しく、保護者にも好評です。ご迷惑にならぬよう続けていきたい食育体験です。
- ・ 地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを知る。日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事など歩く体力も意識して行っている。

◇ 地域貢献

- ・ 『地域交流会や子育て支援』独自に活動を行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見とお互いの学びの場となるようにと考え努めるよう心掛けています。
- ・ 『公園里親活動』3, 4, 5歳児が園周辺の清掃と笹原第4公園の清掃活

動を行い地域へ対するボランティア活動を行った。
 ・地域のおまつりやイベント活動にも積極的に参加をし、地域の盛り上げに貢献する。

◇ 保護者との共同

- ・保護者会との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同で出来る様、声を掛け、ねぎらいの心をもって、子どもたちを共に育て合う仲間づくりとしていく。
- ・『冬まつり』では保護者会が主体となり、職員と共同で企画・準備・実施していった。準備段階では、保護者同士が和気あいあいと話をしながら作業をし、繋がりが広がる活動となった。当日も沢山の保護者が協力をしてくれ、子ども達だけでなく保護者・職員にとっても思い出に残る冬まつりとなった。

2) 児童の在籍状況(KT)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	7	39	17	34	97
5 月	10	39	17	35	101
6 月	12	40	17	35	104
7 月	13	40	16	35	104
8 月	13	40	16	35	104
9 月	13	39	16	35	103
10 月	13	39	16	35	103
11 月	13	38	16	35	102
12 月	13	38	16	35	102
1 月	13	38	16	35	102
2 月	12	38	16	35	101
3 月	12	38	16	35	101
計	144	466	195	419	1,224

3) 保育園の保守管理(KT)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。
 また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

※毎月第1水曜日 PM2時より職員による、安全確認と全体清掃日を実施
 保育室は、病気・感染症等が誘発させないように室内の消毒はもちろんのこと季節に応じて空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(KT)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外(朝と夕方)訓練各 1 回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練
防犯訓練	2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(KT)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)、尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。熱中症対策、感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法など職員研修を実施。また年4回行っている童心会保健部会会議で決定したことを職員に共有する。

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認。日々園内での感染者数を掲示し保護者へ情報を伝えている。

6) 各種行事の実施状況(KT)

行事は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に開催されている。また、姉妹園である柏中央保育園

や柏さかさい保育園や牛久みらい保育園、柏 ECEC 保育園とのマラソン交流会を通して行う行事は、良い刺激となり、更に意欲が湧く会となった。又年長児は柏市立柏第二小学校1年生との交流や学校探検にも参加することが出来、就学に期待を持つ良いきっかけづくりとなった。

月	行 事
4	入園式、進級式、お花見、子どもの日の集い
5	春まつり、尿検査(4, 5歳児)、バス遠足(3, 4, 5歳児)、内科検診、歯磨き指導(4, 5歳児)
6	個人面談、スポーツテスト、歯科検診、10キロウォーク、お泊り保育(5歳児)、手洗い指導(3, 4, 5歳児)、消火訓練
7	プール開き、園外保育活動(市営プール)、七夕の集い、夏まつり
8	お泊り保育(4歳児・3歳児)
9	引き渡し訓練、ボランティア活動、プール納め
10	親子運動会、社会見学(メグミルク4歳児)、社会見学(かすみ5歳児)、ボランティア活動、秋の鑑賞会、視力検査(4, 5歳児)
11	バス遠足(2・3・4・5歳児)、交通安全教室、ボランティア活動
12	クリスマス生活発表会、おもちゃつき大会、大掃除、マラソン記録会
1	マラソン記録会、年長児学校訪問、内科検診 ボランティア活動 冬まつり、視力検査(3歳児)
2	節分・豆まきの会、5園合同マラソン交流会、
3	ひなまつりの集い、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式、卒園遠足

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・幼児体育・音楽リズムセラピー・食育活動(大根ほり・さつまいも掘りなども行っている)

5歳児わくわくアート・5歳児わくわくタイム、表彰式

※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待、お食事と保育参観(保護者:園の食事、園生活や色々な関わり、自分の為の誕生日を皆で心からお祝いし特別感とおもてなしで接している)

7) 職員の充足状況(KT)

① 定員(90名) 弾力運営 108名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	13名	19名	19名	19名	19名	19名

② 職員の配置基準とその配置

☆ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

- 園児 : 職員

☆ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	19名	3名	24名

③ 現員(令和2年3月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	20名	1名	3名
区分	看護師	みなし	事務 (子育て支援員兼務)	全職員32名	
配置	1名	5名	(1名)		

※ みなし=子育て支援員

※ 保育士数のうち派遣保育士1名を雇用

8. 柏 ECEC 保育園

1) 事業内容(EC)

柏 ECEC 保育園は、平成 31 年 4 月 1 日より開園し 2 年が過ぎた。
柏駅東口の駅近くということもあり園見学に来られる方も多い。

事業は 2 事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、 ② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。

◇保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つめ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てている。
- ・プランターで稲や野菜を育てる経験をし、それを用いてクッキング体験に繋げていき、食への興味や美味しくいただくことの大切さを知る。又柏さかさい保育園近隣の日暮さんの畑で行う大根ほり体験は、保護者にも好評で、土に触れたり、畑で育つ野菜に触れ収穫する体験は EC 近隣では出来ない体験なので今後も参加をさせて頂く。
- ・地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事や歩く体力も意識して行う。近隣の立地上、行ける公園も限られており固定遊具で身体を活用しながら遊ぶ経験も少ない為、公園までの移動は徒歩だけではなくバスでも移動をし公園での遊ぶ時間を長時間確保できるように進めていった。
- ・R元年度は、(童)4、5歳児マラソン交流会を柏の葉公園で行ったことで本格的な競技場で行うことで、本物の体験を行うことができた。同年齢児との交流も集団歴の浅い EC の子どもたちには、とても刺激的になった。
- ・特別な支援が必要なお子さんや集団での保育が苦手なお子さんに対して、柏市子ども発達支援センターや訪問支援事業など専門機関との連携を大切にし個々の育ちに対して、適切な支援を行った。また、虐待に繋がる現象が見られるお子さんもいるため、行政や児童相談所との密な連携も大切に対応をしつつ、保護者の方と園との繋がりが切れないように保護者の方にとって近く、信頼できる存在でいられるように十分なコミュニケーションを取っていきサポートをしていった。
- ・外部や内部の専任講師による幼児体育・音楽リズム遊び・わくわくアート・わくわくタイムでは、日ごろの保育の中では見られない子どもの姿や成長を見ることがで

き、園児だけではなく、保育者も沢山の学びを得て成長できる時間となっている。

◇地域貢献

- ・『夏まつり』は、KCと合同での開催。地域へ発信し地域参加を呼びかけ地域交流も深めた。
- ・園見学を通して、地域の方の子育てに関する相談を受けることで地域の方との繋がりや、保育園の役割を広げていった。
- ・一時保育の受け入れも、少しずつ増やしていき一時保育の利用から入園に繋がったお子さんもいた。
- ・園外保育活動時に、地域の方と挨拶や会話を交わしたり、ハロウィンでは、仮装をしながら非日常の体験ができるように近隣のお店にもご協力を頂きパレードを楽しんだ。
- ・小学校接続を目的とした、幼保小連携及び小学校との交流(子ども、職員)を積極的に予定を組んでいったが、新型コロナウイルスの影響で柏第1小学校1年生との交流は中止となってしまった。。

◇保護者との共同

- ・ECファミリー会設立、協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同出来る様、声を掛け、ねぎらいの心をもって、子どもたちを共に育て合う仲間づくりとしていく。
冬まつりでは、初めてファミリー会主催での開催を行い、園児の為に保護者と協力をし、イベントを作ることができた。

2) 児童の在籍状況(EC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	9	33	13	21	76
5 月	9	33	14	21	77
6 月	9	33	13	21	76
7 月	9	33	14	22	78
8 月	9	33	14	22	78
9 月	9	33	15	21	78
10 月	9	33	15	20	77

11 月	9	33	15	22	79
12 月	9	33	15	22	79
1 月	9	33	15	22	79
2 月	9	33	15	21	78
3 月	9	33	15	21	78
計	108	396	173	256	933

3) 保育園の保守管理(EC)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(EC)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため地震・火災・防犯の避難訓練を実施している。9月の防災週間には保護者の方とも年1回の確認ができるように引き渡し訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・午睡・夜間 抜き打ち訓練
防犯訓練	年2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(EC)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)尿検査(4、5歳児)の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフル

エンザ対策、救急処置方法、玩具消毒(毎日)

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認。感染症流行時には、ママ連メールやエントランスでの情報発信をし、保護者の方にも感染症への意識を高めてもらい園児の健康な身体作りを共に行っていった。

6) 各種行事の実施状況(EC)

行事は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。また、姉妹園である柏中央保育園や柏さかさい保育園や柏しんとみ保育園、牛久みらい保育園との大きな交流会は、良い刺激となり、より意欲が湧く会となった。

月	行 事
4	入園式、進級式、お花見
5	春まつり、子どもの日の集い、尿検査(4, 5歳児)、遠足、内科検診、5歳児10キロウォーク
6	お泊り保育(5歳児)個人面談、運動能力測定、歯科検診 視力検査(4, 5歳児)
7	プール開き、七夕の集い、お泊り保育(4歳児)、夏まつり
8	お泊り保育(3歳児)
9	親子運動会、引き渡し訓練、 おじいちゃん・おばあちゃんふれ愛パーティー
10	親子運動会、秋まつり、ハロウィン
11	第1回マラソン記録会
12	クリスマス生活発表会、もちつき、大掃除
1	内科検診、(童)合同マラソン交流会(4, 5歳児)
2	節分・豆まきの会、冬まつり
3	ひなまつりの集い、入園説明会、みんなありがとうの会、 卒園の会

- ※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・体操指導・音楽リミック・食育活動
 ※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待、お食事と保育参観

7) 職員の充足状況(KT)

① 定員(80名) 弾力運営 96名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	9	15	17	18	10	10

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

- 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	12名	2名	15名

② 現員(令和2年3月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	16名	1名	2名
区分	みなし	看護師	事務	全職員 24名	
配置	2名	1名	(1名)		

- ※ 保育士数のうち派遣保育士4名を雇用
- ※ 調理員数のうち派遣調理師1名を雇用
- ※ 栄養士は調理員と兼務
- ※ 事務員は保育兼務

< 以上 >